学校番号	1302

令和８年度　（学）共生科

教科	共生	科目	（学）子ども学	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

子どもの成長や発達段階における特徴を学びます。また、子どもを見守り育てるためにふさわしい養育者・保育者として、子どもにどのように接するべきか、法律なども交えて学んでいきます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識を身につける。保育者としてふさわしい考えや行動を理解できるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
子どもを生み育てることや、家族の役割や地域の子育て支援などについて課題を見いだし、思考を深め、適切に判断、表現する能力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
子どもの発達や子育て支援について関心を持ち、実際に子どもと関わろうとする意欲や態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識を身に付けている。 保育者としてふさわしい考えや行動を理解し、身に付けている。	子どもを生み育てることや、家族の役割や地域の子育て支援などについて課題を見いだし、思考を深め、適切に判断し、創意工夫し表現する能力を身に付けている。	子どもの発達や子育て支援について関心を持ち、実際に子どもと関わろうとする意欲や態度を身に付けている。保育者としてふさわしい考えや行動を身に付けようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	子どもの発達の特性、発達過程	第1章 子どもの発達の特性 第2章 子どもの発達過程	a: 子どもの成長は身体の発育と心や身体の機能の発達が相互に関連してなされていくことを理解している。 b: 「子どもが育つ」ことの重要な点は人間として豊かに育つことにあることを認識している。 c: 子どもの発達の特性、発達過程に関心を持ち、課題に意欲的に取り組もうとしている。	・定期考査 ・小テスト	・パフォーマンス課題 ・考査	・提出物 ・取り組み
二学期	子どもの生活、保育	第3章 子どもの生活 第4章 子どもの保育	a: 保育の意義目的を理解するだけでなく、実際にどのような育て方があるのかを理解している。 b: 子どもの成長段階に応じた食事や適切な衣服の選び方を理解している。 c: 子どもは保育者の養護なしでは生きて行けないということを理解し、保育者としての責任と自覚を認識している。	・定期考査 ・小テスト	・パフォーマンス課題 ・考査	・提出物 ・取り組み
三学期	子どもの福祉と子育て支援	第5章 子どもの福祉と子育て支援	a: 児童福祉の理念と特徴、実現するための法律や制度について理解している。 b: 子どもを保護の対象とするだけでなく、主体的な存在としてとらえることができる。 c: 児童福祉の必要性について、具体的な問題を通して考えようとする姿勢がみられる。	・定期考査 ・小テスト	・パフォーマンス課題 ・考査	・提出物 ・取り組み

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度